



知的クラスター創成事業成果発表会

大学発共通プラットフォームを用いたスマートサービス

—九州大学サービス情報基盤技術が推進する地域サービスの効率化と付加価値化—
3月11日事例発表会のお知らせ

概 要

国立大学法人九州大学（総長 有川節夫）システム LSI 研究センター社会実証研究部門（センター長 福田晃 以下、SLRC と記載します）では、財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（理事長 麻生 渡）の支援の下、安全、安心、便利に価値と権利の流通を管理する技術 VRICS (Value and Right Circulation Control System)を開発し、技術の高度化を進めつつ、当該技術を用いたサービス情報基盤とその応用システム、当該システムを用いたビジネスモデルの研究開発を行っています。

平成 22 年度は、以下 3 つのサービス事業において、1 枚の IC カードもしくは 1 台の IC デバイスを用いて複数のサービスを安心安全便利に提供する、低コストなスマートサービスのビジネスモデル実証実験を行いました。

- ①地域大学等向け学内サービス
- ②厚生労働省の社会保障カードサービス
- ③バングラデシュグラミン銀行マイクロクレジットサービス

今回 SLRC では、事業の成果を、これらの事業に協力いただいた方々への結果報告のため、そして一層の景気の悪化の中で、コストダウンや効率化、高付加価値化のための情報化を検討している大学、企業、自治体に参考にしてもらうために発表することといたしました。

発表会は 3 月 11 日に九州大学箱崎キャンパスで行う予定です。

実験にご協力いただいた皆様、サービスの情報化でお悩みの自治体・企業・大学の皆様、マスコミの皆様、研究テーマとして興味をお持ちの学生教員の皆様のお越しを心よりお待ちしております。

■背 景

九州大学では、2002 年度より行政をはじめとした社会全般でのサービスの電子化に不可欠で、様々なサービスの供給を管理する社会情報基盤の研究を開始し、2003 年度にはサービス供給のためのコア技術のコンセプトをまとめました。

2005 年度には経済産業省の支援を得て、コア技術の実装を実施し MIID (Media Independent id) と命名し、2006 年度後半からは、これを用いて学内サービス基盤を構築し、学内での学生教職員向けの様々なサービス供給実験を開始しました。

これと並行して文部科学省、福岡県（麻生渡知事）、財団法人福岡県産業・科学技術振興財団の支援により、MIID の完成度を高めるための研究開発が始まり、2007 年度には現在の VRICS (Value and Right Circulation control System) の第 1 版が完成しました。

2008 年度以降 学内における VRICS を用いた様々な事象実験を開始し、2009 年度には九州大学での実導入を開始、久留米市での株式会社ハイマート久留米での電子マネーサービス基盤としての導入を皮切りに独立行政法人 国立高等専門学校機構北九州工業高等専門学校（校長 塚本寛）、公立大学法人福岡女子大学（学長 高木誠）での実導入や、バングラデシュグラミン銀行での貧困解決のためのマイクロクレジットサービスへの適用実証実験、厚生労働省の「社会保障カード（仮称）の制度設計に向けた検討のための実証事業」での適用実証実験事業等が始まりました。

これにつれ国内外での VRICS に対する関心も高まり、技術導入の打診や技術内容照会も来るようになりました。特にサービスのコストダウンや効率化、高付加価値化に悩み、低コストに、サービスの IC カード、デバイスによるスマガート化を図りたい一部の大学、自治体、中小零細交通機関、中小零細企業サービス業等からの熱心な導入打診、技術内容照会も来始めております。

九州大学では VRICS 技術や応用事例の紹介を一般向けにはしてこなかったため、これらの先は他の企業の紹介できたところや紹介された新聞記事等を探してきたところがほとんどです。

そこで、これら以外のサービスのコストダウンや効率化、高付加価値化に悩む大学、自治体、中小零細交通機関、中小零細企業サービス業等に対しても技術内容や応用事例を紹介するために発表会を開催することにいたしました。

■内容概要

発表会は、二部構成で開催をさせていただきます。午前の第一部では、貧困を救う「バングラデシュグラミン銀行における九州大学の挑戦」としてマイクロクレジット事業の電子化について、現地のニーズを踏まえたうえで必要になるシステム、アプリケーションや、機器開発とビジネスモデル提案を行った事例について発表いたします。

午後の第二部では、九州大学内にて2009年から本運用を開始したVRICS技術を用いた学内での各種サービスの紹介と、他大学が導入するにあたり必要となるシステム、機器開発と導入の上での課題と解決策等について発表いたします。

また、九州大学生協から講師をお呼びして、九州大学生協がVRICSを用いて実現している大学教職員のための新しい電子マネーシステムとその課題今後の展望等についても、発表していただきます。

さらに、VRICS技術の発展的活用事例として、セクトラルモデルで実現する安心安全な社会情報基盤「社会保障カード（仮称）実証実験」と題し、平成21年度、22年度で実施した社会保障カード（仮称）実証事業について、開発したシステム、デバイスの内容と実証結果について発表させていただきます。

なお、当日はこれら上記事業で開発を行ったシステム、成果物は、会場後方にて、展示、デモンストレーションを行います。

■発表会次第

◆日程・場所

日時：平成23年3月11日（金）

第一部：10時30分～11時45分

第二部：15時00分～17時45分

場所：九州大学 箱崎キャンパス 箱崎理系地区 旧工学部本館3階 第一会議室
（福岡市東区箱崎6-10-1）

◆報告会次第

第一部

- ・10:30-11:15：貧困を救う「バングラデシュグラミン銀行における九州大学の挑戦」
（石田浩二 九州大学システムLSI研究センター 客員准教授）
- ・11:15-11:45：質疑応答並びに、デモンストレーション（会場後方にて）

第二部

- ・15:00-15:15：教育研究を支える大学ICTの取り組みについて（仮題）
（安浦寛人 九州大学理事・副学長）
- ・15:15-16:00：1枚のカードで安心安全に学内の全てのサービスを「九州大学におけるICTの取組」
（石田浩二 九州大学システムLSI研究センター 客員准教授）
- ・16:00-16:10：break
- ・16:10-16:40：学生サービスに付加価値を付ける「九大生協電子マネーの取り組み」（仮題）
（巢内秀則 九州大学生協生活協同組合 専務理事）
- ・16:40-17:20：セクトラルモデルで実現する安心安全な社会情報基盤
「社会保障カード（仮称）実証実験」
（徳永 英治 九州大学システムLSI研究センター 学術研究員）
- ・17:20-17:45：質疑応答並びに、デモンストレーション（会場後方にて）

◆対象者

自治体関係者、大学など学校関係者、開発会社、サービス提供会社、市民

■お問い合わせ先

取材のお申込みについては、以下お問い合わせ先まで、前日12:00までにご連絡下さいますようお願いいたします。

〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学旧工学部本館207号室 国立大学法人九州大学 システムLSI研究センター社会実証研究部門(連携部門) 担当 渡邊浩平(watanabe@slrc.kyushu-u.ac.jp) 学術研究員 徳永英治(tokunaga@slrc.kyushu-u.ac.jp) 学術研究員 TEL 092-642-7325 FAX 092-642-7078
--